

分科会研修のまとめ

D分科会 管理職のための財務の見方

講 師 横山昇一氏
中村真規氏
(日本私立学校振興・共済事業団)
運営委員 長岡寛治
川並孝純
酒井伸

本分科会には、理事・法人事務局長・経理部門の管理職の方々を中心に総勢40名(1名欠席)、中には教員の方もおられ、学校会計に関する知識・経験が豊富な方から、まだ慣れていない方まで幅広い層の皆様にご参加いただきました。講師には日本私立学校振興・共済事業団の私学経営センター経営支援室の横山室長と中村主幹をお招きし、初日と2日目の両日にわたり、学校会計の基礎から自法人の財務分析、経営判断指標等に至るまでの内容について演習を織り交ぜながらわかりやすく解説していただきました。

初日は中長期計画策定の必要性・重要性から始まり、学校を取り巻く環境は厳しいもののまずは自校の立ち位置を把握することが肝要であるとの見解から定量的・定性的な分析手法が必要である旨説明がありました。「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」の3表の説明と作成の流れの解説がありました。例題もあり資金収支計算書に記録するものと事業活動収支計算書に記録するものとの違いを具体的な事例と共に説明がありました。

2日目は自法人の決算書を用いて、財務分析の実践が行われました。各比率の意味や計算方法を学んだだけでなく、これらの分析結果をいかに活用して自法人の財務状況の健全性を高めていくかを理解することができました。また、活動区分資金収支計算書を活用した経営判断指標による学校法人の経営状態の把握、分析を行うとともに損益分岐点分析についても演習を交えながら解説がありました。また、中長期計画について目的や必要性及び策定のプロセスについて丁寧に解説いただき、SWOT分析やPDCAサイクルについて学んだことにより、実際に計画を立案する上ですぐに役立つ技能を習得することができたのではないかと思います。

3日目は運営委員が事業団作成の『今日の私学財政』の財務比率と度数分布表について解説を行いました。資料中に出てくる統計学的な代表値である「平均」「標準偏差」の意味、偏差値の求め方・活用方法について説明を行いました。今までこうした手法の分析方法の説明を受けた事例が殆どなく参加者の皆さんも興味深く、真剣に自法人の財務比率の計算に取り組まれていました。

3日間の分科会を通し、参加した管理職の皆さんに決算書から各学校の現状を読み取り、今後の課題の発見や経営上の目標等を定める力をつけて頂くことができたのではないかと思います。今後も参加された方々がすぐに業務に活かすことができるような、より具体的かつ実践的な分科会を展開してまいりたいと考えております。

最後に日本私立学校振興・共済事業団の方々には大変わかりやすい資料等をご準備いただき、また丁寧なご指導を賜りましたことに心より御礼申し上げます。